

ビジネスモデルと
企業文化

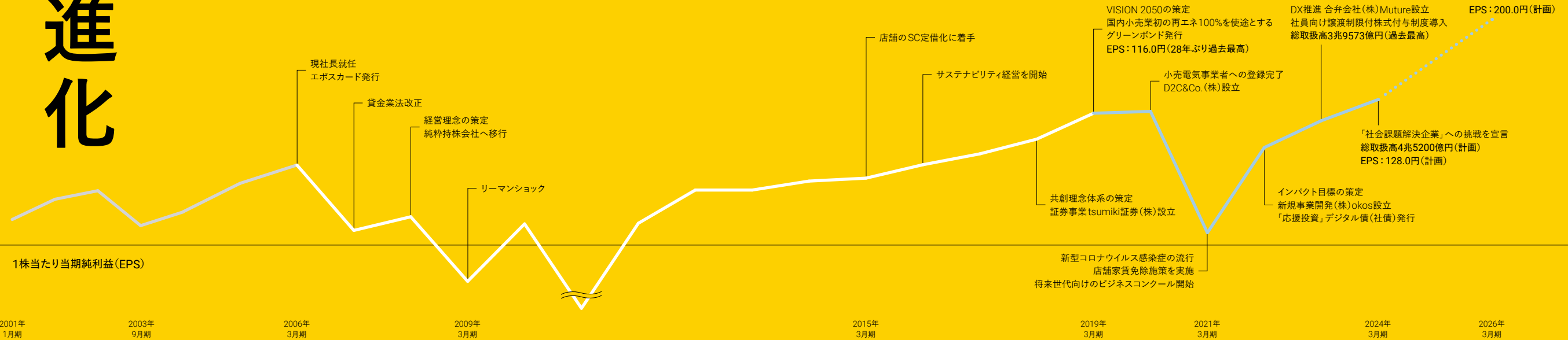
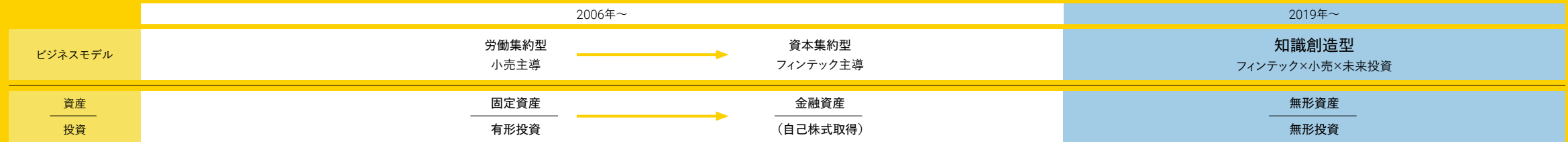
革新と進化

自らが実験台となる「社会課題解決企業」への挑戦
丸井グループは「お客さまのお役に立つために進化し続ける」「人の成長=企業の成長」という経営理念に基づき、「すべての人が『しあわせ』を感じられるインクルーシブな社会を共に創る」ことをミッションとしています。つまり、経済的な豊かさだけでなく精神的な豊かさとしての「しあわせ」を、一部の人たちだけでなく、すべての人に提供することをめざしています。1931年の

創業から今日にいたるまで、時代と共に変化するお客さまの「しあわせ」のあり方を模索し、コアバリューである「信用の共創」を軸とした金融と小売の融合サービスを開発・提供し続けてきました。

2005年に丸井グループの社長に青井が就任して以降、抜本的な企業文化変革に着手するとともに、小売主導の労働集約型ビジネスモデルからの脱却を図りました。そして14年の歳月を

経た2019年、将来世代を6つ目のステークホルダーに加え、「VISION 2050」の発表と共にフィンテック×小売×未来投資を軸とした知識創造型企業への転換に向け動き出しました。丸井グループでは人的資本をはじめとする無形資産への投資をさらに加速することで、2023年に「社会課題解決企業」への進化を宣言。自らが実験台となり、社会課題解決と利益を同時に実現する難易度の高いビジネスモデルの構築に挑戦していきます。



企業文化1.0

企業文化1.0
自ら考え自ら実行する手挙げの文化

経営理念を起点とした8つの施策「企業理念」「対話の文化」「働き方改革」「多様性の推進」「手挙げの文化」「グループ間職種変更異動」「パフォーマンスとバリューの二軸評価」「Well-being」を展開 (P62)

企業文化2.0

企業文化2.0
失敗を許容し挑戦を奨励する文化

社会課題解決と利益の両立を実現するために、自らが実験台となり社会実験を行う企業へ。鍵となるのが「働き方と組織のイノベーション」×「DXの推進」(P63～69)